



お友だちが作ってくれた「手作りのしめ縄」
 縄も、米も、その方の栽培された「有機の米」です。
 農業女子へそくん



- ✦ 天国への階段 7 寂聴師との再会を約して
- ✦ STEMz マンガ文庫 蔵書紹介
たまにはノンバーバルコミュニケーションを!
- ✦ 秀作エッセイ「小さな願い」
- ✦ 同志募集 !! 奥能登福祉農園 (2)
- ✦ 今月の五行歌
- ✦ なんちゃって農業女子(笑) 10
- ✦ わたしの闘病日記
「身体中で一番新しい関節に感謝」(6)
- ✦ イベント紹介 ✦ 編集局より/会計報告

「LIP編集局」

<https://love-dugong.net/lip/>

連絡先

メールアドレス: lip@love-dugong.net

TEL: 070-5653-6913 (18時以降)



「天国への階段」(七) 鶴島緋沙子

「天国への階段」(七) 鶴島緋沙子

寂聴師との再会を約して

今頃は、どこにおいでかな寂聴先生、御自慢の健脚のゆえ、早、天国が目の前かも。と思いきや、あにはからんや、その足は下に向いている。何でも面白い先生だから。

「天国なんてつまらない。地獄の方が楽しそう」

なんて言いながら、ひらりひらりと衣を翻し下へ向かう階段を、お経を唱えながら降りていく寂聴師。

「待ってえ！」

追いかける私。

「駄目よ！ あなたは、まだ早い！」

衣の裾を引っ張ろうと手を伸ばす必死の私。「あと十年したらいらっしやい、待ってるよー！」

夢とも現実とも分からない幻想が、頭をよぎる。と、笑顔の師の顔が歪み

「あら、間違えちゃった。やっぱり天国がいいわ」

くるりと身を翻しましたもや上を目指す先生。紫色の衣の袖が、私の頬をなでる。

「私、百歳まで生きる」

去年の十月末に電話で話した時、今思えば

お声は少し弱弱しく感じただけだけどいつもながらの若々しい寂聴師だった。

寂聴文章塾の一番弟子を自認し、塾解散のあとも、法話や写経に伺い、その度に親しく寂庵のダイニングキッ

チンに呼ばれ、コーヒーやケーキをぞ馳走になって、セーター姿に変身した作家、瀬戸内寂聴の面白可笑しい、門外不出のお説教を聞いたものだった。ああ、もうあの日は還らない。今年十月、八十八歳になる私。先生とは、ひと回り下の同じ成年の私。先の事は分からない。以下に記すのは昨年十一月、十二月の寂聴暦の言葉からの抜粋である。

「いつ死ぬか。いつまで生きるのか。人の命は、どうなるかはわかりません。つまり生きていれば何が起るかわからない」といふことですよ

「若さも名誉も金も健康も、いつかは自分から逃げて失ってしまふ儂いものです。それを自覚することで執着という煩惱から解放されますよ」
「人間の真の優しさや想像力は、苦しい



時にこそ発揮されるものです」

「老いがもたらす嫌な感情は、誰の心にも必ずあるものです。あなただけではありません」

「誰だって、生きていればつらい目に遭います。そんな時は、自分に同情し自分で自分を励まし、自分を可愛がってあげましょう」

「心配や取り越し苦労をして過ごすのではなく、今ここにいて、この瞬間を精一杯生きてください」

これらは今年の私の座右の銘である。



私の中の瀬戸内寂聴一人々がいる、「自閉症者」がいる、私がいる
著者：鶴島緋沙子
出版社：柘植書房新社

鶴島緋沙子さんは、山田洋次監督の映画「学校III」の原作となった「トミーの夕陽」(つげ書房新社刊)などの作品で知られる枚方市在住の作家。「大阪府高齢者大学校エッセー文学科」「大阪府民カレッジひらかた校」等講師。『トミーの夕陽』がまた昇る『私の中の瀬戸内寂聴』『もぐらの目』など。「自閉症」の息子さんの母親であり、「枚方自閉症児(者)親の会」の元代表。

STEMz マンガ文庫 蔵書紹介

たまにはノンバーバルコミュニケーションを！

最近、「言葉」という便利な道具について考えることがありました。人は「言葉」を操ることで、喜怒哀楽を伝えたり、不明確なことを明確にしたり、整理したり、残したり……様々な場面で使ってきましたが、この便利な「言葉」を悪用している面があるのではないだろうか？とふと思ったのです。

Humankind～希望の歴史～という思想書を読んだ方のレビューに、「戦争に向かう社会では政治家が自分たちの正当性を言葉を尽くして演説し、戦争が終わったあとは、抱き合ったり、音楽や踊りで表現する」「怒りを持続させるためには言葉が必要」「憎しみが起きそうなきには、言葉をあまり使わなければいい」といったことが書かれていました。

言葉を介さずに感じていた感情は自分のものであったのに、言葉で二次的に理解したものは、その言葉の「固定化された意味」に書き換えられてしまったような気がするのです。

目や耳で、身体で感じたことは、唯一無二のあなただけのもの。でも、「言葉」を介して理解した感情はあなたが最初に感じたものと同じだったろうか？ 誰かの意図で書き換えられていないだろうか？ そんなことをこの本のレビューから感じました。

年末年始という文化風習が色濃いこの時期特有の空気感を全身で感じ、心で感じるままに感じるというノンバーバルなコミュニケーションを楽しんでみませんか？



◆ のだめカンタービレ ◆

著：二ノ宮知子 既刊/蔵書 25巻

天才音大生であり、気難しい完璧主義者の千秋真一は、世界的な指揮者を夢見るも、閉所恐怖症のため海外留学ができず自暴自棄になっていました。そんなある日、隣室から聞こえてくる一風変わったピ

アノソナタに耳を奪われます。吸い込まれるように隣室に行ってみると、ゴミだらけの部屋でピアノを弾く落ちこぼれ変態ピアニスト野田恵と遭遇して…。

まさに破天荒という言葉がピッタリな、誰にも行動が予想できないヒロイン「のだめ」を中心に繰り広げられる恋愛模様をギャグ満載に描いた作品です。ギャグ色が強くて読む場所を選ぶ作品ですが、物語の中心にある音楽についてはリアルガチにクラシック音楽の世界を描かれていて、音楽の世界で生きていく大変さや音楽そのものの魅力が丁寧に表現されています。



◆ スイギンドラゴンタイガーブギ ◆

著：灰田高鴻 全6巻(全て電子書籍)

戦後日本、黎明期の芸能界に飛び込んだ一人の少女を主人公に、スリリングな人間模様と、日本とアメリカ双方の人々が抱える悩みや野望が渦巻きます！戦争ですべてを失った日本が再生していく様子をジャズそして「芸能界」という視点から描いた作品です。

本作品は先日最終巻が発売されたばかりなのですが、「ジャズ」を通して出会ったバンド仲間や駐留アメリカ軍人は、それぞれの道を歩みながらも、時にはセッションで同じ曲を奏で、また別の時には観客としてその場を楽しむ…。言葉を超えたコミュニケーションでお互いへの理解を深めていきます。プレイヤーたちが音楽を通じて語り合う魔法のような時間を羨ましく感じながら、音楽の持つ魅力と戦後が持つエネルギーに魅了される一冊です！

(みんなで作る学童STEMs そふえ)

[STEMz マンガ文庫]で検索！

小さな願い

野中 利博

十一月の冬の訪れが感じられる肌寒い早朝、最寄りの駅までチビは妻に連れられ見送りにきた。その日は、私が二年の予定で南米の国に出発する日であった。私はチビを抱き上げて「暫く会えないけど元気でいろよ」と言った。いつもとは様子が違うことを感じていたに違いないチビは、私の顔をいつもの何倍も嘗め回した。私は、涙顔になるのをごまかしながら妻に「チビを頼むね」と言った。

南米滞在中、私はチビの様子を知りたくて用もないのに電話をかけた。「あなたの声を受話器から聞かせると、チビはくーんくーんと鳴いて玄関の方へ走り出すのよ」と毎回同じことを言う妻のセリフで二人は大笑いする。そんなことを繰り返しているうちに二年が経ち、過ぎてみれば、短かったような気もする南米の地を後にした。

時差ボケの頭で駅の改札を出た時のことだった。二年前のように妻はチビを連れて迎えに来ていることを期待していたが、チビは予想もしない形で私を迎えた。大勢の人をかき分けて、唸り声をあげながらこちらに突進して来るのだ。チビだ。妻が後から人々に謝りながら小走りにチビを追いかけてきた。突然のダッシュにリードが手から外れてしまったのだという。二年もすればもうすっかり忘れられているだろうと思った私はチビを過小評

価していた。あんなに遠くから私を見つけて駆け出すチビは片時も私を忘れることはなかったに違いない。ミニチュアダックスフンドであるチビは小型犬で足は短く胴長である。それでいてその姿は不思議にも均整の取れた端正な体つきをしている。あんな小さな体のどこに私の記憶を長い間温めていたのだろう。妻の友人からもらい受けてきた時、チビはまだ三か月の子犬だった。それから五年位は妻と私、チビとミーコ(猫)が家族だった。腕白盛りだったチビのいたずらは妻と私を大いに笑わせた。一日中走り回って疲れて眠るチビの寝顔は愛らしく穏やかで、その顔を見ているだけで妻も私も何か満たされるものを感じていた。この頃にチビの小さな願いが出来たように思う。それは家族みんなと一緒に過ごせることというだけの単純なものだ。妻や私が外出から戻った時のチビの迎えかたは、飛びつく、跳ね回る、走り回るの狂気がかった熱烈歓迎である。それが五年近くも一日と欠かすことなく続いた。そんなチビだから、家族がそろった時には幸せで満足そうな顔つきで皆を和ませた。私はチビの願いを絶対に壊したくないと思っていた。

いる。妻を亡くして絶望する私には、暫くはチビの熱烈歓迎はつらいものであった。それから七年たって、チビにも癌が発見された。もう老齢であるので手術もできない状態になっていった。それでも天気の良い日に散歩に連れ出すと、小さな歩幅がより小さくなっているにも拘わらず一生懸命私についてこようとする。その姿が通りがかりの人にさえ、思わず「がんばってるね」と言わせてしまうほど健気なものだった。チビは何をするにも一生懸命だったのだと思う。私も残り少ない人生、一生懸命に生きなければ勿体ないという気はするのだが、一体全体どう生きていようかが分からないでいる。一方、チビは家族と一緒にいることを一生懸命願って、その願いの中で一生懸命生きた。私はチビに生きるヒントをもらったような気がして、「ありがとう」という言葉が口をついた。言葉になった瞬間涙があふれた。

チビは二千二十一年の十二月十三日の昼過ぎに可愛い穏やかな顔をして小さな命を終えた。十七歳だった。

「大阪府高齢者大学」文章講座
卒業生でつくる「鶴島学校」の
野中利博さんの作品です。講師
をつとめる鶴島緋沙子さんの推
奨作品。

同志募集 !! 奥能登福祉農園（2） タイムトンネルの向こうの異空間

枚方市立殿山第二小学校→枚方三中→四條畷高校出身で、現在石川県輪島市の山村に住んでいる鴻章子です。（旧姓広瀬）

こちらの村の住人も、もう激減していますが、老後のくらしかたの理想的モデルとして、是非とも、その暮らしぶりをお伝えしなくては！と思うのです。

以下、数年前、私が友人に送った文章です。

村の住民の身体は、みんな抜群に強靱で、驚異的です。だいたい80歳くらいになるまでは、早朝から夕方まで、炎天下でも雪の下でも、長時間働いても平気、休まない重労働も平気……

一世代前までは、女性でも60キロの米俵をかつぎ（自分の体重は40キロもない小柄な体でも）、山の中の川沿いの道なき道を濡れながら、数キロ離れた拠出所まで、運んだそうです。

そう、この村に道路らしいものができたのは、およそ60年前。それまでは、けもの道のような路か、小川のへりを濡れながら歩くしかなかったそうです。

だから、60年前に、自動車が通行できる道ができたとき、『この村に道路ができるなんて、夢のようだ！』と感激し、この道路に心から感謝し、道路を大切にしよう、うつくしく保とうと（今の村長さんは）決心したそうです。

村の道路は、8キロほどもあり、草刈り・水路掃除などの維持管理が大変なのですが……



みなさん、ほんと強靱で、すごいです。

私は、老後のくらしかたとして、理想的なモデルが、男性も女性も、たくさんいらっしゃると思い感嘆しました。

都市部のお年寄りには、就労してたり、ボランティア・家族の世話など、何か役割を引き受けている人はいいのですが、うまくいかない人も多いなあ（私の父がそうでした）と思います。でも、田舎の年寄りには、お米を育てたり、果樹を育てたり、野菜を育てて、じまんの新品種を披露しあったり、じまんの漬物をつくって親しい人に配って喜ばれたり、『大きな誇り』を持って生きている。朝ごはんの前から田畑で動き回り、毎日いい汗かいて、寒い家に住んで、寒さに鍛えられて、ますます風邪もひかず元気で……

長寿者の日常の食事は、簡素です。自分の家の周りに自生している野草や畑にあるものを、さっと煮て食べる。それで充分なのです。タンパク源として、自分で手をかけ育てた豆類を、夏はサヤごと、夏以外は納豆や煮豆にして、非常にたくさん食べます。山栗やくるみも落ちている。自分で海岸に行って海藻や魚を採ってくる人も、たくさんいるし、毎日のように、海藻の料理を食べておられます。少し前までは、鶏を飼って卵を自給していた家もたくさんあったようです。牛やヤギもいました。

文／鴻 章子（旧姓 広瀬）



LIPが選ぶ 今月の五行歌

枝が折れそうなの

ナンテンの実

ネットを張って

迎春を

待つ

坂口壽樹

師走

十二月

え!

化粧直し

急がねば

ふわり

筋肉が固まると

痛い

脳も固まると

痛い思いしか

浮かばないか

いぶやん

五行歌(ごぎようか)とは……五行で書く短い詩。字数や季語などの制限はなく、自分のおもったこと、感じたことを、そのまま言葉にして書きます。枚方では、五行歌ひらかた歌会が、8月を除き月一度歌会を行っています。

(連絡先: akkie.toyotaka@gmail.com)

または 090-5893-5635・豊高)

No.10

なんちゃって農業女子(笑)

2021年の私の一文字は「土」でした(笑)。4月からスタートした「なんちゃって農業女子」ですが……ホント、土というか農業の考え方を自分なりに書かせて頂けて、楽しい一年でしたね。今年も期待してください!! えっ誰も期待してないって? 残念。まあまあそう言わずに、今年もよろしく願います。

2022年の私の一文字は「花」にしました。毎回、野菜の花のお話をしましたが、今年もご期待にお応えして…だから、誰も期待してないって(笑)。それでもあえて野菜の花にこだわってみたいと思っています。

今回の写真は水仙の花です。野菜の花ではありませんが、私の畑「ニコニコファーム」には以前に畑を使っていた方の残り物の「水仙」がものすごい勢いで群生しています。年の瀬が雨も多い上に温かい日もあったので、年内に花が咲き、正月の切り花にしました。

今年は、野菜の花だけではなく、オーガニックフラワーにも取り組みましょうかね??



土作りにもなるし「緑肥」といって、雑草ではありますが「クリムソクローバー」や「ヘアリーベッチ」といった肥料になる草も種まきし栽培していきますので「花」が咲いたらお見せいたしますよ。(笑)

日本の農業で、昔からやっていた「緑肥」で有名なのは「レンゲ」ですが、少し前までレンゲの咲いている田んぼをあまり見たことなかったです。大規模栽培に伴って「一斉農薬散布」などが行われ、効率の良い化学肥料での栽培が主流となったことが原因でした。

ところが、近年農薬や化学肥料を使った栽培が問題視され、昔ながらの有機農業が見直され「レンゲ米」も復活しはじめています。

とはいえ有機無農薬農業は、まだまだごく一部です。私がお伝えすることは「なんちゃって」な農業とは思いますが、今年も私なりに、勇気をもって、有機農にこだわって楽しい畑ライフお届け致しますのでよろしく。

(文・写真 へそくん)

イベント・サークル・ボランティア情報

【枚方自閉症児(者)親の会】

お母さん、一人で悩んでいませんか？ 障害があってもなくても、みんなと一緒に成長していきましょう。

おじいちゃん、おばあちゃんも歓迎です。

◆日時：1月19日(水) 10時～12時

◆日時：2月14日(月) 10時～12時

◆場所：ラポールひらかた 4階共用ルーム

※連絡先 松崎 072-845-3014 さんなみ 072-868-9929

「みんなと一緒に高校へ行こう」

「知的障害者」を普通高校へ北河内連絡会定例会

1月、いよいよ受験の季節ですね。進路を決められた方も、迷っておられる方も集い、語り合っ、情報と安心を得ながら前に進みませんか。

そんな話し合いに参加しながら、自分を見つめて語ったり、これからの体験を想像して、新たな力にし合う、そんな出会いと話し合いが、1月もきつと行われることでしょう。お待ちしております。

今回は、ZOOMの企画はありません。ラポールでお会いしましょう！

●日時：2022年1月30日(日曜) 午後1:30～5:00

●場所：ラポールひらかた3階 研修室4
京阪枚方市駅北へ5分 電話072-807-3448
駐車場は手帳のある人は利用できます。

●内容：

- 1) 今年の高校受験に備えて
- 2) 最近の子ども達、学校について、こんなこと感じています
- 3) 「医療的ケア」のいる子ども達の学校生活と課題
- 4) 高校卒業後の進路や暮らし
- 5) その他何でも自由に

●参加費：1家族100円

●連絡先：松森 090-1960-3469 関山 090-2599-6162

●主催：「知的障害者」を普通高校へ北河内連絡会

カウンセラー入門講座

～講座体験&受講説明会～

内容：心の支援についての基本的な取り組みを学びます。

◆日時：1月27日(木) 10:00～11:30

◆場所：交野市立 青年の家

◆日時：2月3日(木) 10:00～11:30

2月3日(木) 19:00～20:30

◆場所：ラポールひらかた

参加費：無料

定員：15名

申込・問合せ先：NPO法人京阪総合カウンセリング

TEL 072-814-7140

メール jim@np@ksc.net

http://www.npo-ksc.net

【参加者募集】 放課後クラブ「チャレンジ・キッズ」

子どものことで、迷ったときに相談したり、悩みを打ち明けられる場があればいいなあ……。

そんな思いで集っています。支援者を交えて、気楽におしゃべり情報交換しませんか。

午後からは、ポータブルWi-Fiを使い、オンラインでの交流スキル等を教え合います。

日時：2月4日(金) 10時30分～15時頃

(遅刻早退OK、出入り自由)

場所：ラポールひらかた2階 集会室

○10時30分～13時

情報交換交流会

○13時～15時

オンラインでの交流についての学習会

お手持ちのスマホやアイパッド等を使ってわからないこと疑問点を教え合しましょう。

参加費：無料

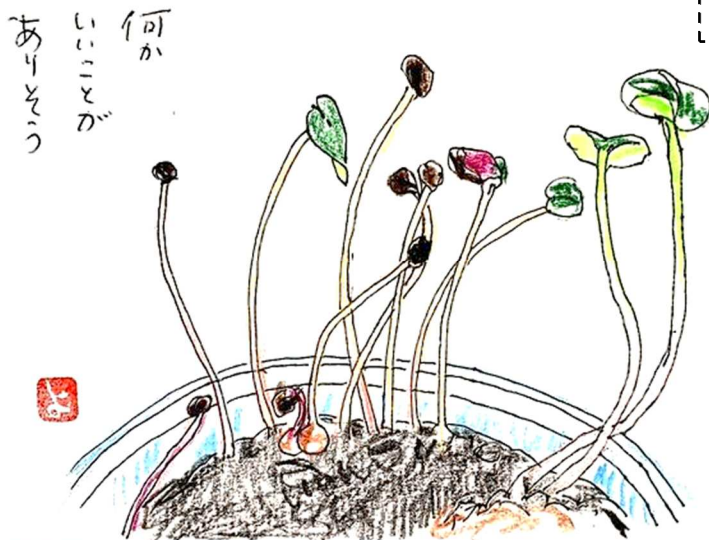
問合せ：c-k@love-dugong.net または、

090-5893-5635 (16時以降 豊高)

下記ブログにて、随時情報を掲載しています。

http://ameblo.jp/challengekids81573/

(「チャレンジ・キッズ」「アメブロ」で検索してください)



わたしの闘病日記 「身体中で一番新しい関節に感謝」(6)

なんと10月13日に6回目の脱臼をしてしまいました(ノド)シクシク…

庭の雑草抜きをされていて右足に約20cmの木片が触ったので、取り上げようとした途端「グニュッ！」と脱臼。中腰のまま動けず、丁度窓に近かったので窓ガラスに手をつけて身体を支えるのが精いっぱい。携帯電話は家の中。

大声で「誰か助けてください！ 誰か救急車呼んでください！」と叫び続けました。

この日は30度の暑さで痛さと支えられない辛さで汗がダラダラ。

おそらく10分位叫んでいたと思います。裏に小さい川が流れているのですが、その川向こうの人が気づいてくださり、119番通報してくださいました。

まさに命の恩人です。

救急隊3人が到着した時、「水、水ください。冷蔵庫に入っているから」と叫んでいました。雑草抜きを始めて1時間半くらいたっていたのです。

脱臼の痛さは、並大抵ではありません。救急車が発進する振動が痛い、道路の継ぎ目(普段は道路に継ぎ目があるなんて感じませんよね)の振動が痛い、左折・右折する度痛い、踏切のガタガタが痛い、信号で停車する度痛い。病院に到着してストレッチャーからベッドに移る時も悲鳴をあげてしまいます。

施術はテレビ室(？ レントゲンで映し出された映像を見ながら施術できる部屋)で麻酔をされ眠っている間に関節を入れてくださいます。後で聞いてみると、看護師さんが腰を押さえ、体育会系(☺)医師2人がかりで、一人が足を引っ張り、もう一人がはめる、と言う事らしいです。

麻酔が覚めて、意識がハッキリすれば帰宅できます。

脱臼した股関節の骨頭部分が筋肉に無理やり押し込まれ、入れる時には無理やり筋肉を引っ張る為、股関節周りや臀部の筋肉が数日痛み、特に次の日は階段を登るのが辛かったです。

最初の脱臼から今回で6回目。ホンマに凝りひんおっちょこちよいです。

リハビリの続きについては次回と言う事で…

イラスト 表紙、P7：平井由恵

応援ありがとうございます♪

LIP 応援団

岸下洋子さん

LIP 会計報告 (前号以降)

金額(円)	内容
26,273	前号から繰り越し
2,200	広告代
800	応援団寄付
▼784	郵送代
▼500	ロッカー代
▼3,900	12月号印刷代
24,089	計(次号へ繰り越し)

■2021年2月末閉館となった三つの枚方市立図書館分室のうちの一つ、東香里分室のあった場所では、その後ボランティアの力で週一度土曜の午後「みんなの図書室」が開かれているとのこと。取材に行きたいと思いましたが、風邪でダウン、長引かせてしまいました。その後YouTubeでストレッチの動画を見つけて一緒にやったり、健康維持に努めています。同時に免疫力アップで、新型コロナウイルスの脅威にも対抗したいです。(A)

求人～女性パートスタッフ募集

■ 職種：生活支援員・簡単な事務・送迎

① 14:00～22:00 (休憩60分)

5時間以上・週3日以上で相談に応じます。
時給1450円

② 夜勤15:00～翌朝9:00 (休憩240分)

上記時間内で相談に応じます。月に2回以上。
時給1100円+夜勤手当4000円

※詳細はホームページをご覧ください。

★ 京阪枚方公園駅徒歩10分(枚方市上之町)

★ 問合せ ショートステイ みっきい

TEL 090-9167-7187

HP <https://tayuragi.com/>



「枚方市民にだけ」
読んでほしい情報サイト

枚方つーしん

検索